

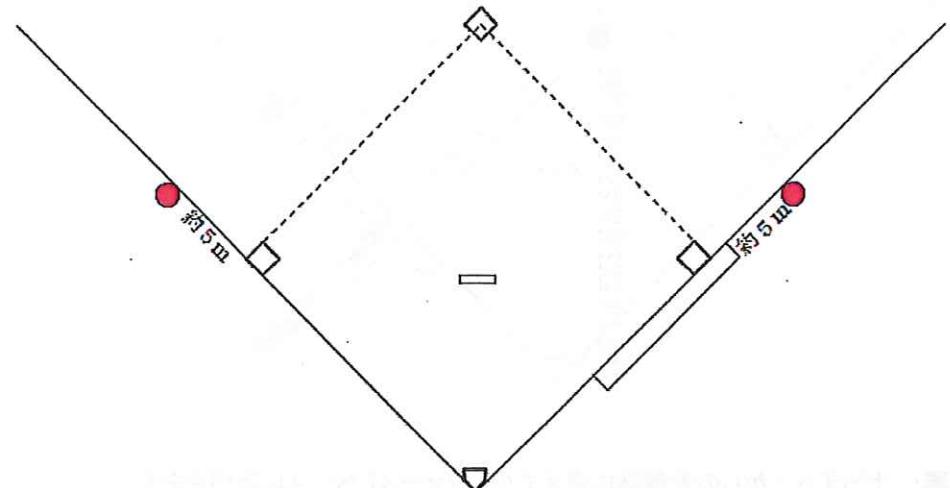
# 審判講習会(墨審)

2023/3/12

於 三田谷公園

## 【墨審の位置】

1、ランナーなしの場合(定位置)



### 【墨審のジェスチャー】



#### POINT ① 「アウト」は右手を 頭の横まであげる

右手を軽く握り、頭の横くらいまであげ「アウト」とコールする。野手がライナーやフライを捕球したときも同じジェスチャーとなるがコールは「キャッチ」となる。動きながらではなく、近くまで行き止まつた状態ではっきりわかるように示そう。



#### POINT ② 「セーフ」は両腕を 肩の高さで開く

両腕を肩の高さまで上げ、横へ水平に開くように伸ばして「セーフ」とコールする。肘の曲げ伸ばしではなく、遠くの野手や走者にもわかるよう、腕は伸ばした状態で大きく広げよう。両腕を広げた状態でしっかり静止してからおろすように。



#### POINT ③ 「ファウル」は両腕を あげY字をつくる

ファウルのときは手の平を開き、両手を頭のやや上にあげ、体全体でYの字をつくる。このとき、手の平を前方に向けるのがベター。腕は伸びきらなくても良い。正面を向いて打者にまで聞こえるようにはっきり「ファウル」とコールをしよう。



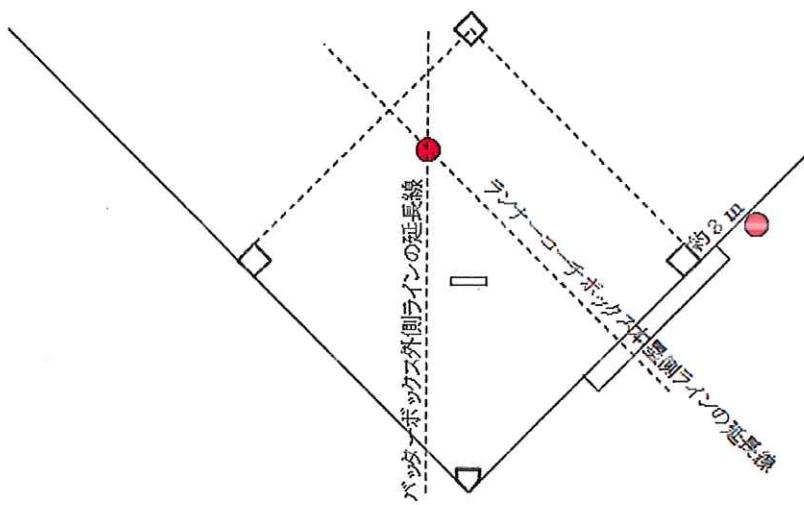
#### POINT ④ 「フェア」は片手で フェアゾーンを指す

フェアを示すときはフェアゾーンをまたいで行う。フェアゾーン側の腕を肩の高さくらいまであげ、人差し指で差し示す。フェアと区別するために声を出さない。ジェスチャーだけのジャッジになるので、よりメリハリのある動きが大切だ。

メモ



## 2、ランナーが1塁にいる場合

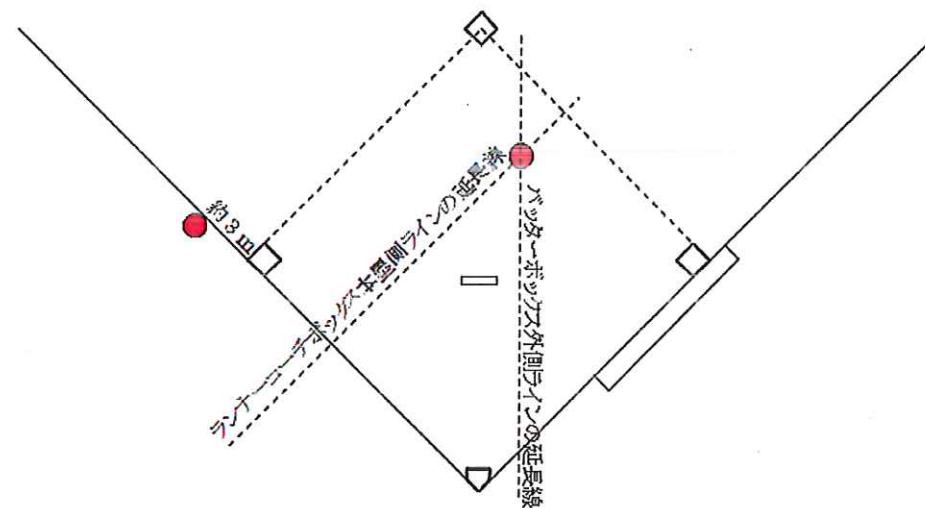


1塁塁審…ピッチャーからの牽制球に備えて少しファーストベースに近づきます。

3塁塁審…1塁ランナーの盗塁に備えて、内野の中に入ります。大体の目安は、バッターボックスの外側のラインの延長線とランナーコーチボックスの本塁側のラインの延長線の交点付近と考えてください。セカンドベースから5メートルほど離れた位置になります。ショートの視界を確保するため、中腰で待ちます。しゃがんだり、膝をつくと、速い打球や送球を避けられませんので、必ず中腰で。判定しづらいこともあると思いますが、位置取り等うまく工夫してください。

×モ

## 3、ランナーが2塁もしくは2・3塁の場合



1塁塁審…2塁ランナーへの牽制球は1塁塁審が判断します。そのために内野の中に入ります。大体の目安は、バッターボックスの外側のラインの延長線とランナーコーチボックスの本塁側のラインの延長線の交点付近と考えてください。セカンドベースから5メートルほど離れた位置になります。セカンドの視界を確保するため、中腰で待ちます。しゃがんだり、膝をつくと、速い打球や送球を避けられませんので、必ず中腰で。このときの1塁塁審は、2塁および1塁の判定を受け持ちます。

3塁塁審…3塁にランナーがいる場合、ピッチャーからのけん制に備えて少しサードベースに近づきます。  
3塁にランナーがない場合は定位置です。

## 4、ランナーが3塁単独の場合

※図は省略します。

1塁塁審…定位置です。

3塁塁審…ピッチャーからのけん制に備えて少しサードベースに近づきます。